

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【公開番号】特開2013-140781(P2013-140781A)

【公開日】平成25年7月18日(2013.7.18)

【年通号数】公開・登録公報2013-038

【出願番号】特願2012-259630(P2012-259630)

【国際特許分類】

H 01 M 10/0587 (2010.01)

H 01 M 10/052 (2010.01)

H 01 M 4/134 (2010.01)

【F I】

H 01 M 10/0587

H 01 M 10/052

H 01 M 4/134

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月24日(2015.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

捲回体を有し、

前記捲回体は、集合シートと、第1のセパレータとを有し、

前記集合シートは、正極シートと、負極シートと、前記正極シートと、前記負極シートとの間の第2のセパレータとを有し、

前記正極シートは、正極集電体の両面に正極活性物質を有し、

前記負極シートは、負極集電体の両面に負極活性物質を有し、

前記正極活性物質、又は前記負極活性物質は、開口部を有する領域と、開口部を有していない領域とを有し、

前記集合シートにおいて、曲げが生じている部分は、前記開口部を有する領域と重なり

前記開口部は、複数配置され、

前記複数の開口部が配置される間隔は、前記曲げが生じている部分の曲率半径が小さくなるにつれて、短くなることを特徴とする角形リチウム二次電池。

【請求項2】

捲回体を有し、

前記捲回体は、集合シートと、第1のセパレータとを有し、

前記集合シートは、正極シートと、負極シートと、前記正極シートと、前記負極シートとの間の第2のセパレータとを有し、

前記正極シートは、正極集電体の両面に正極活性物質を有し、

前記負極シートは、負極集電体の両面に負極活性物質を有し、

前記正極活性物質、又は前記負極活性物質は、開口部を有する領域と、開口部を有していない領域とを有し、

前記集合シートにおいて、曲げが生じている部分は、前記開口部を有する領域と重なり

前記開口部は、複数配置され、

前記複数の開口部が配置される間隔は、前記曲げが生じている部分の曲率半径が小さくなるにつれて、密になることを特徴とする角形リチウム二次電池。

**【請求項3】**

請求項1又は請求項2において、

前期複数の開口部は、前記開口部を有する領域において、内側に位置する第1の開口部と、外側に位置する第2の開口部とを有し、

前記第2の開口部の長辺は、前記第1の開口部の長辺より短く、

前記第2の開口部は、前記正極活物質又は前記負極活物質の端部に設けられていることを特徴とする角形リチウム二次電池。